

合格体験記

氏名：M.N.

[合格した自治体(校種・教科)]

神奈川県 (小学校)

Q 採用試験に向けて...

①いつから勉強しましたか

3回生の後期にあったナビ冬合宿を終えてから、本格的に勉強し始めました。

②どのような教材を使っていましたか

●東京アカデミー 教員採用試験 オープンセサミシリーズ 参考書

- (1) 教職教養 I [教育原理 教育史]
- (2) 教職教養 I I [教育心理 教育法規]
- (3) 一般教養 I [人文科学]
- (4) 一般教養 I I [社会科学]
- (5) 一般教養 I I I [自然科学]

教員採用試験 オープンセサミシリーズ セサミノート

- (1) 教職教養
- (3) 小学校全科

基本的に、セサミノートで勉強しました。その中で、分からない事があつたら参考書で詳しく内容を理解するという方法を探っていました。

●時事通信出版局

過去問シリーズ 教職教養
一般教養

毎年2月頃に出版されるので、出版されたら即効買って下さい(笑) 何度も繰り返し問題を解いて、問題の傾向や自分の苦手分野を知りました。間違えたところには、印を付けておいて復習しやすい様にしておきました。

●教育関係の...

図書館にある教育本や教育雑誌、映画やドキュメンタリーなど見たり読んだり勉強したり感動したりしました。

③勉強方法

私は自宅では勉強に集中出来なかった為、基本的に図書館や図書館6階などを利用していました。また、気分が乗らないときなどは近くのカフェなどで気分転換しながら行っていました。

④一日何時間勉強しましたか

日によって異なりますが、3～6時間くらいでした。勉強を始めた頃は、机に向っていても集中出来ずただ「ぼーっと」していた時もありました。しかし、それを続けることで机に向かう習慣がついたように思います。

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

大阪府・愛知県・神奈川県を受験しました。

対策は、過去問が図書館などにあるので解いて傾向を掴む様にしていました。愛知県と神奈川県は1次試験から専門の試験がありましたが、特別な対策はしていませんでした。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

神奈川県では、体育と図工(実技)と模擬授業を行いました。

●体育 バスケット（シュートとドリブル） 水泳（クロールか平泳ぎ 25m）

バスケットも水泳も経験があったので、特に練習しませんでした。しかしバスケット本番で、緊張しパスのところをドリブルしてしまうミスをしました。けれど、大丈夫でした！シュートが入るか否か等よりもヤル気やフォームを見ていたように思います。

●図工（鉛筆によるデッサン 着色はしない）

特に、準備は行いませんでしたが、「影」をつけることを意識しました。

☞実技は、受験自治体によって変わるので事前にHP等で確認する様にしておいて下さい。

●模擬授業

ナビの友達に手伝ってもらいながら、準備や練習をたくさんしました。そして、先生方にもアドバイスを頂きました！

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

最高の同志が集まる場所です。切磋琢磨し、いつも支えて頂きました。

ありがとうございました！

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

所属ゼミがしっかり勉強させて頂けるゼミだったので、一生懸命取り組みました。時には、教採とは関係のないゼミが億劫になることもありました。しかしゼミと教採を両立出来ない人が教員になり、より多くの事を両立出来るはずがない！と思い自分を鼓舞させました。なにより、ゼミ自体を楽しみました！

単位（授業）は、間違いなく出来るだけ早めに取得しておいてほしいと思います。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

1、2回生の時は、野外キャンプのリーダーや地域の老人ホームなどに参加させて頂きました。3回生後期からは、地元の小学校に週1回行かせて頂いていました。行ってない方は、是非行ってほしいです。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

多くの友達に、支えられました。多くの先輩の、支えられました。多くの先生方に、支えられました。多くの児童に、支えられました。ほんまに、多くの人々に、支えられました。教職ナビの同志はもちろんですが、その他の大学の仲間や高校の友達、家族など多くの人に支えてもらっていました。

⑪大学生活中にやっておいたらいいこと

自分がやりたいと思ったことは、何でも挑戦してほしいと思います。

教職以外のこともたくさん経験してください。大学での交流、地域での趣味、企画・運営や、旅行や留学、インターンシップ、可能性は無敵大です。多くの幅広い経験が、先生になった時にもいきると思います。

Q これからどのような先生になりたいですか

子どものことを1番に考えて 自分を振り返り反省しながら 常に向上する先生になりたいです。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

「努力できない先生が、子どもに頑張れって言えますか？」

私は、この言葉を胸に秘めて、仲間とともに頑張りました。

教員採用試験は、ゴールでなくてあくまでも通過点だと思います。自分の理想とする教師像を忘れずに、素直に頑張りたいと思います。未熟な私が偉そうなことを書きましたが、少しでも皆さんのお役に立てればと思います。